レベル	科目名	担当者 （ふりがな）	曜日・時限	教室	目標	授業内容	テキスト	成績評価法
4	日本語４総合（文法）B1-B4	今井　美登里 （いまい　みどり） 増田　里香 （ますだ　りか）	火曜１・２限 木曜１・２限	N310	初級後半の語彙（ごい)や文法項目（ぶんぽうこうもく）を理解（りかい）し、使うことができる。	テキストを使って初級後半の語彙（ごい)や文法項目（ぶんぽうこうもく）を理解（りかい）し、使うことができるように練習(れんしゅう）します。	・『できる日本語 初中級 本冊 第２版』アルク ・『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級 第２版』凡人社	授業活動（じゅぎょうかつどう）への参加度（さんかど）40%、宿題（しゅくだい）10%、テスト・クイズ50%
	日本語４漢字B	宮本 典以子 （みやもと　ていこ）	金曜・１限	N310	基本（きほん）漢字（かんじ）300～400を学ぶ。	テキストの23課～34課を勉強（べんきょう）します。漢字（かんじ）の書（か）き方（かた）や覚（おぼ）え方（かた）などは、ピア活動（かつどう）をします。 2課ごとに漢字（かんじ）クイズをします。	『（新版）BASIC KANJI BOOK ―基本漢字500― Vol.2（第2版）』凡人社	授業参加度50%、漢字クイズ50%
	日本語４聴解B	桂　千佳子 （かつら　ちかこ）	金曜・２限	N310	日常（にちじょう）の短い会話や説明（せつめい）が聞けるようになる。	連絡（れんらく）する、宿題（しゅくだい）を提出（ていしゅつ）する、クイズやテストを受（う）けるなど、全部（ぜんぶ）Teamsを使います。 最初（さいしょ）に、「ちがい」を聞（き）き取（と）るのが難（むずか）しい音（おと）を聞（き）く練習（れんしゅう）をします。テキストのトライアルは宿題（しゅくだい）です。クラスの前（まえ）に自分（じぶん）でやってきてください。それから、メインテキストのクイズ「やってみよう」を聞（き）きます。ときどき、ゲームもします。	宮本典以子・大﨑伸城著『5分でできるにほんご音の聞きわけトレーニング』スリーエーネットワーク 『できる日本語 初中級 本冊 第２版』アルク	クイズ 40%、宿題 40%、授業参加度 20%
	日本語４会話B	李　琦 （り　き）	月曜・２限	N310	日常（にちじょう）の会話コミュニケーションができるようになる。	日常生活のいろいろな場面（ばめん）について、日本語で話す練習（れんしゅう）をします。勉強した文型（ぶんけい）や言葉（ことば）を使って、自分のことや考えを伝（つた）えたり、相手（あいて）に質問（しつもん）したりする練習をします。	プリント配布	授業への参加度（出席・授業態度）50%、テスト50%
	日本語４講読B	横山　和子 （よこやま　かずこ）	月曜・３限	N310	日常的（にちじょうてき）で長くない文章（ぶんしょう）が読めるようになる。	お知らせ・メール・日記・物語・説明文・意見文・SNSてのやり取りなど、様々な文章を読んで、読む力と語彙のカを伸ばします。	プリント配布	授業への参加度Class participation and homework 20%、 小テスト Quizzes 20%、 中間試験 Mid term Exam 20%、 期末試験 Final Exam 20%、 最終発表 Final presentation 20%
	日本語４作文B	荒井　直美 （あらい　なおみ）	月曜・１限	N310	ある程度（ていど）まとまりのある文章（ぶんしょう）が書けるようになる。	メインテキストの中（なか）の「話読聞書」を使（つか）って作文（さくぶん）を書（か）きます。また、日常的（にちじょうてき）なことをテーマにして書（か）きます。言葉（ことば）や文法（ぶんぽう）も勉強（べんきょう）しながら作文（さくぶん）を書（か）きます。いろいろなテーマの文章（ぶんしょう）を書（か）きます。	『できる日本語　初中級本冊 第2版』（メインテキスト）をつかいます。また、プリントをくばります。	授業参加度（じゅぎょうさんかど）30%、小（しょう）テスト・課題（かだい）70%